



モロッコ沖の島で日本語を教えています。

いまの ひさえ
今野 寿恵さん

(スペイン領グランカナリア島 ラスパルマス市在住)



▲ラスカンテラスビーチ沿いの遊歩道



▲旧市街にある大聖堂



▲日本語を教えている教室



▲クルーズ船が時々停泊します。

「グランカナリア」を知っていますか？

スペイン・カナリア諸島の1つであるグランカナリア島に住んで13年。この島がどこにあるか知っている方は少ないのではないのでしょうか…。実は、アフリカのモロッコ沖にある小さな島の1つなんです。アフリカに近いなら「とても暑いでしょ?」とよく聞かれますが、実際は“常春の楽園”と呼ばれているくらい1年中過ごしやすい場所です。特に、冬には北欧から寒さを逃れてやってくる観光客で賑わっており、クルーズ船などで来る人たちも年々増えています。

日本はここでも人気です!

この島にあるラスパルマス市で、私は日本語を教える毎日を過ごしています。生徒たちが「日本語を学びたい!」と思ったきっかけはさまざま、例えば、世界的にブームとなっているアニメ、そして武道、日本文化、和食など。ひとりひとりの興味が違

うので、それらをうまくクラスに取り入れ、レベルアップができるよう心がけています。同じように教えているつもりでも、生徒たちの質問の中から日々新しい発見があり、自分自身が学ぶこともたくさんあります。日本へ旅行するスペイン人も増えており、生徒たちも「日本でコミュニケーションが取れること」を目標に日本語の習得に力を入れています。漢字の勉強が始まると戸惑ってしまう人が多いですが、そこは「継続は力なり」の精神を教えつつ前進あるのみ。ただ、忍耐力があまりないカナリア人にとっては漢字をマスターするというのは少しハードルが高いようで…。でも、諦めずにあの手この手を使い奮闘中です。

ラスパルマスが好きです。

ラスパルマス市は、とても住みやすく居心地がいいです。特に私が好きなのは、時間の流れがゆっくりしていること。週末によく主人と「ラスカンテラス」というビーチ沿いの

遊歩道をウォーキングするのですが、周りの人たちにはいつも100%「リラックス感」が漂っているんです。ここでの生活は決して楽な時ばかりではありませんが、気分が晴れない時でも歩きながら海を見ていると、自然と気分転換ができたり、「また明日から頑張るぞ!」という気分になれる場所です。

“グランカナリアの青い空と海からの爽やかな風が皆さんに届きますように…”

(文・写真提供: 今野 寿恵さん)

